

（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	雇用条件や福利厚生などあらゆる面で差別が発生しないよう、当社の行動指針に基づき経営トップが指導。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	就業規則に基づきハラスメントを禁止。また経営トップを窓口として相談できる体制を構築。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	シフト勤務体制を敷くことで稼働時間を延ばしなから各従業員の労働時間を抑制。また、多様な勤務形態を認めている。									8.5 8.8								
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在、外国人労働者の雇用はない。将来、外国人労働者を採用した場合には、差別が発生しないよう経営トップが従業員に教育を行っている。				4.4				8.7 8.8	10.2 10.3								
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	機械設備の手順書・マニュアルを用いて労災事故防止を図っている。また、朝礼にてルールの共有を図っている。							3		8								
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	業務の平準化を図り、個人に業務集中しないようにしている。従業員との面談を通じて不調の兆候を掴んでいく。							3										
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性従業員比率50%。女性が働きやすい労働環境の整備(専用の更衣室、トイレ等)。60歳以上の高齢者雇用の促進。					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	業界主催の研修会への参加や毎月行っている外部講師による工場の衛生教育への参加。				4	5.5			8	9								
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	作業や業務の習熟度・役割に基づいた賃金体系を構築。					5.5			8.5	10.2 10.3								
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	従業員に定期的な健康診断を実施している。							3		8								
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	汚泥の適切な廃棄。及び職場内での廃棄物の分別・適切な廃棄を実施。										11.6	12		14.1				
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	電気・灯油の使用量を毎月記録し、管理している。								7.3					13				
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	【予定】排出量算定ツールの導入検討 照明LED化や空調更新により消費電力の削減を進めていく。 大豆等長野県産原料を使用することで輸送時に発生するCO2排出量削減する。								7.2 7.3			12.4	13.3					
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	有害化学物質の使用なし。							3.9		6.3		11.6	12.4					
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	包装資材に信州産アカマツの経木を活用することで森林資源の維持に寄与。 信州産大豆を契約農家から調達することで耕作放棄地の発生を抑制								6.6						15			
		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	製品の消費期限の長期化により廃棄ロス削減に寄与。 納品箱活用によりダンボール箱の使用量削減。製造時に発生する端材を再使用した包装容器の利用。												13		14.1			
		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	地下水の活用に加え、従業員に対して節水を呼び掛けることで水利用量の適正化を図っている								6.4 6.6									

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																														
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17														
18		【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ					3.9								6	7							12	13.3	14	15								
19		【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】環境問題やSDGsの取組を自社HPにて情報発信することを検討。																					12.6										
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ														7.2										13								
21		【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	長野県産大豆を原料として主力製品を製造している。また長野県産材を経木として活用することで天然資源の持続的開発に貢献する。																						12.2	13	14	15						
22		【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則やコンプライアンス遵守の呼びかけにより防止を図る。																												16 16.5			
23		【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争防止を従業員にも周知。																												16			
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本	商標登録取得により管理。																															
25		【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本	「個人情報保護指針」を策定し、HPにて公表している。																														16	
26		【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物の取扱い無し。																														16	
27		【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応 (ハラスメント・汚職・贈収賄防止) について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	契約農家との生物多様性や生態系への影響への認識を共通化を図っている。												5				8														10 12 13 14 15 16 17	
28		【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	納豆HACCPに基づく製造工程管理を実施。 外部講師による衛生教育に参加。																															3.9 12.4
29	製品・サービス	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	契約農家へのフィードバック、及び納豆HACCPに基づく製造工程管理実施。																															9
30		【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	長野県産大豆の調達や信州産アマツの経木活用による製品開発を行い、地域の自然資源の有効活用を行っている。													6																		12 13 14 15
31		【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	契約農家から調達した長野県産大豆で商品開発を行い、農家の所得安定に寄与し、耕作放棄地抑制に貢献する。また、信州産アマツの経木を調達することで森林資源の持続的な開発を支援する。																															1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

	非該当	チェック項目	取組レベル	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																					
32	社会 地域 貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本					4					9	11	12	14	15	17			
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ					4					11			14	15	17			
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ							8	9	11	12	13							
35	組織 体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本							8	9							17			
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本					朝礼などミーティングを活用し、経営トップからコンプライアンス遵守を指導。 納豆HACCPに基づく衛生管理を従業員に周知。										16			
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	経営理念・行動指針に基づき経営トップを責任者として対応。																16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	取引先やサプライヤーである契約農家からの意見を拝聴し、製品開発等に活かしている。定期的な消費者セミナー開催で自社の取り組みを理解してもらっている																16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																	16	
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	地産地消・地域の子供に対する食育などボランティア活動実施し、地域への貢献を行っている。																16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ								9	11	13	13.1			16				
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ							8	9							17			

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

<p>【記載留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものであっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。） ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。 <p>また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。</p> <p>（※職場いきいきアバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるほし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）</p>
--